



町場で発展したこけし 山形系

平成30年12月1日（土）～平成31年4月1日（月）

公益財団法人 東邦銀行教育・文化財団附属 原郷のこけし群 西田記念館
〒960-2156 福島市荒井字横塚3-183(アンナガーデン内) TEL: 024-593-0639

- 【ご利用案内】
- 入館料 一般 300円（団体20名以上250円） 中学生以下無料
 - 開館時間 9:00～17:00（ご入館は16:30まで）
※最終日の4月1日は9:00～12:00までになります。
 - 休館日 12月29日～1月3日

こけしは東北の湯治の習慣と共に温泉土産として発達してきました。このため、こけし産地という温泉場が多く、町場で発展した山形系こけしは珍しいものと考えられてきました。しかし、古い記録を見ると江戸末期～昭和初期には温泉場以外でもこけしが売られていた事例が多く確認され、古くはこけしと町場の関わりが大きかったことが見えてきました。

今回の企画展では、山形系こけしが町場でどのように発展してきたかを紹介すると共に、こけしイコール温泉場のイメージを見直す町場との関係についてもご紹介します。



神尾長八



鈴木安太郎



阿部正義



小林清

【交通のご案内】

バス（福島交通）

- ・土湯温泉行
福島駅東口より約30分
自治研修センター前 下車、800m

車

- ・福島西I.C.より10分
- ・福島飯坂I.C.より40分

